



SCOUT CHIBA

スカウト ちば

平成24年度の基本方針
スカウト運動の基本に基づいて
よりよいスカウトを育てよう!
—まずは班制教育の徹底—

発行：日本ボーイスカウト千葉県連盟
運動拡大委員会
発行責任者：木村 政夫 編集長：上野 孝

〒263-0016 千葉県稲毛区天台6-5-2 千葉県青少年女性会館内
TEL 043-287-1755 FAX 043-287-1786

<http://www.scoutchiba.jp/>

	回数		隊数		団委員		指導者		スカウト		その他		計		ビーバー (BVS)			カブ (CS)			ボーイ (BS)			ベンチャー (VS)			ローバー (RS)																	
	登録数	前年度末数	指	ス	指	ス	指	ス	指	ス	指	ス	指	ス	指	ス	指	ス	指	ス	指	ス	指	ス	指	ス	指	ス																
	115	115	540	546	1,391	1,489	2,100	2,159	4,782	5,078	2	2	8,275	8,728	105	106	393	404	818	838	111	115	834	863	1,302	1,408	115	115	487	491	1,329	1,427	112	114	248	264	690	763	97	96	138	137	643	642

[加盟登録状況]平成25年2月末日現在

ボーイスカウト1万5千人の国際キャンプ大会

楽しみな

第16回日本ジャンボリー!

千葉県のボーイスカウトが山口で国際交流

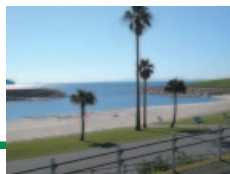
16NJ千葉県
シンボルマーク決定



16NJ会場



瀬戸内の穏やかな海



きらら博記念公園内「月の海」



きらら博「アリーナ」

2013

千葉
ジャンボリー

16th Nippon Jamboree
山口 きらら浜

松戸・鎌ヶ谷地区 鎌ヶ谷第1団鈴木厚則さん制作

16NJ千葉県連盟派遣実行委員会 委員長 小川 信一

スカウト諸君、山口市の「きらら浜」で国際キャンプ大会「第16回日本ジャンボリー」が4カ月後に迫りました。この大会では、8泊9日のキャンプ生活を通じて様々なワクワク体験、ドキドキ交流を期待しています。隊編成を終えて、集会や訓練キャンプなど色々と準備されているものと思います。

会場は南北に約3km、東西に約1kmで286haあり、東京ドーム6個分の広さで、瀬戸内の穏やかな海からは四国や九州も近くに眺められます。

日光から逃れようがない会場ですので対策をしっかりしましょう!

2年後に開催が決定されている「第23回世界スカウトジャンボリー」のプレ大会として世界中のスカウトが注目しています。

今大会には、世界スカウト機構・アジア太平洋地域に加盟する24か国を中心に、世界各地の多くの国々から1千人程度の参加も見込まれています。

国際交流の機会に一人でも多くの仲間の輪を広げられるようにチャレンジしましょう!

大会プログラムは、モジュールアクティビティ・フリータイムアクティビティ・サブキャンプライフ・セレモニーと大きく4つのカテゴリーに分類されています。

今回ジャンボリーでは、班炊事を基本としてカセットコンロを使用します。カセットコンロの利便性や危険性について、事前に十分な学習が必要です。食事が楽しく食べられるように事前訓練をお願いします。

さて、当県連盟では参加隊15個隊と大会運営スタッフなど総勢730人が参加します。

また、千葉県連盟派遣団提供プログラムも準備されていますので期待して下さい。

みなさんが安全で快適に参加できるよう16NJ派遣実行委員会を昨年より組織して、準備を進めています。

JOTA/JOTI (ジョタ・ジョティ) で、 世界中のスカウト仲間と交流しよう!

スカウトの皆さん、世界の仲間と交流できるプログラム、JOTA/JOTI(ジョタ・ジョティ)を知っていますか?

毎年10月第3土曜、日曜に世界中で開催されるプログラムで、JOTA(ジャンボリーオンジエアー)JOTI(ジャンボリーオンジインターネット)の略称です。

千葉県連盟では今回も千葉県青少年女性会館内に特設アマチュア無線局とインターネット接続パソコンを用意してこのプログラムに参加しました。参加したカブスカウトやボーイスカ

ウト達は台湾のスカウトとスカイプを使ってテレビ電話を楽しんだり、インターネット掲示板への書き込みをして国内のスカウト、指導者と情報交換などをして楽しみました。

今年の10月は君たちの来訪を待っています。
詳細の案内をボーイスカウト千葉県連盟ICT研究会ホームページ <http://ictken.boy.jp/> で紹介しております。



掲示板に書き込み中



熊本のリーダーと交信



無線で日本連盟と交信(長島君)

JOTA・JOTIに参加して

ぼくは、青少年女性会館で行われたJOTIにカブ隊のデンコーチとして参加しました。初めてのなので、どんなことをするのか少し不安でした。

そこでは実際にスカイプを使って、台湾のスカウトと通話しました。カブ隊のリーダーに通訳してもらいながらでしたが、台湾のスカウトとその場で会話ができました。日本ジャンボリーの事が話題になり、また好きなスポーツが「バスケットボール」と返事があり、バスケット部のぼくはますますうれしくなりました。ほんの数分間でしたが、すごく世界のスカウトとつながりあえたように感じました。

JOTIに参加して、今がんばっている世界のスカウトに出会い、「世界に仲間がいる」と実感できました。なんだか不思議な感じでしたが、うれしかったです。

上総地区 市原第6団 ボーイスカウト隊 蓮池 和樹

JOTI楽しかったです。無線機でつうしんする行事があるなんて知りませんでした。

たいわんのスカウトと話すことができました。また行きたいです。

上総地区 市原第6団 カブスカウト隊
くまスカウト 倉本 日向

私は今回無線通信を経験して大変楽しく感じました。それまで無線通信はハムフェアでしか体験していなくて、その時はとても緊張しました。

今回実際にやってみると、他県連の人と交信したり外国の人と交信したりととてもよい経験をしました。

私は無線通信をもっと詳しく知ってジャンボリーなどで通信し、通信した人と実際に会い交流を深めていきたいと思っています。そのために、もっと無線の技術を高めてたくさん経験の積みみたいです。

東葛地区 柏第1団 ベンチャースカウト隊 長島 勇輝



台湾スカウト



台湾スカウトと
スカイプで交信中

県内各地区の隊活動便り

風にのってはしれ！ ビーバー！

香取東総地区 地区副コミッショナー 坂本 哲志

平成24年11月18日に旭市たきの里自然公園で地区ビーバーランドを開催しました。スカウトやリーダーなど134人が参加し、ゲームなどをしてすごしました。

～参加したスカウトから感想を聞いてみました。～

竹トンボ作って、飛ばしたことも面白かった。サッカーボールでなく、大きなボールでのシュートはうまくいったよ。お母さんが、笑いながらやっているのを見て、楽しそうだった。



しっぽとりゲームがあとちょこつとのところで負けて悔し

かった。はじめて会う人と楽しく遊べてよかった。竹とんぼしりけんや手裏剣飛ばしが楽しかった！風車が大きくてびっくりした、回る風車の影をジャンプしたよ。しっぽ取りゲームでお腹がぺこぺこになったけど、みんなと遊んで楽しかった！

ビーバーランドでたくさんのお友達と集会ができて楽しかった。ミリオンスプーンゲームは、ボールを落とさないようにロープの間を進むのがむずかしかった。アニマルトレンは、知らないお友達と手をつないだり、たくさん笑って楽しかった。ビーバーランドは、たくさんのお友だちとワイワイキャーキャー言いながら楽しめるから大スキだよ。



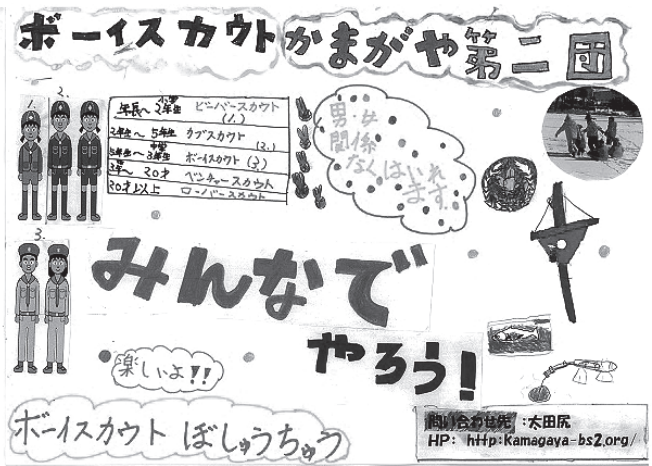
☆多くのスカウトから元気いっぱい感想をもらいました。これからもスカウトがワクワク・ドキドキするような地区ビーバーランドにしたいと考えております。(リーダー一同)☆

みんなでポスターづくり

松戸・鎌ヶ谷地区 鎌ヶ谷第2団 カブスカウト隊 隊長 小柳京子

私たちの活動を知ってもらおう！と組ごとにポスター作りに挑戦しました。

各組作業開始！……。いろいろな意見がでましたが、チームワーク良く、最後まで熱心に作業は続きポスターは立派に完成しました。「学校に貼ってもらおうよ」「ホームページに載せられるかな」「駅なんかどう？」出来上がった物をどこに貼ろうか、組の仲間で相談しています。素敵な仲間がたくさん集まりますように。



年長へ2年組	ビーバースカウト (1)
2年組へ3年組	カブスカウト (2)
3年組へ3年組	カブスカウト (3)
3年組へ3年組	カブスカウト (4)
3年組へ3年組	カブスカウト (5)
3年組以上	カブスカウト (6)
3年組以上	カブスカウト (7)

作図ハイキング

船橋地区 船橋第14団 ポーイスカウト隊 仁木 陽

僕たちの隊では、1月に作図ハイキングをしました。12月のグリーンパートレーニング(GBT)で、野帳の付け方や地図の作り方を、隊長から教わりました。そして、班集会で班員にやり方を教えました。僕自身、あまり自信がなかったのですが、なかなかうまく教えられませんでした。思い出しながら説明して、何とか皆できるようになりました。

隊集会では、3班が別々にキャンプ場の近くのコースを、歩測係やコンパスで測る係、記録する係、安全係に役割を分担して歩きました。2.5kmのコースでしたが、いろいろやりながら歩いたので1時間30分ぐらい掛かりました。

歩き終わってから、公民館の部屋で、全員が地図を作りました。スタート地点をどこにするかで、紙からはみ出してしまったりして、何回もやり直しました。最後に副長から正しい



地図を見せてもらいましたが、1か所間違えたところがありました。もう少し慎重に測らなければならなかったと思いました。残念ながら、今回は優秀班になれませんでした。次回は頑張りたいです。

僕は、10月からトナカイ班の班長になりました。班長になると、毎月GB会議やGBT、そして寒い中での一泊のGBTキャンプなどもあって大変です。しかし、いろいろなことを覚えて、自分の技能を高めて、それを班員に教えていきたいです。そして他の班に負けない良い班をつくってきたいです。

ボーイスカウト隊

我ら Patrol Leader 班長!!

その3

指示の大切さ

船橋地区 船橋第10回 ボーイスカウト隊 アース班 入江 舜

ぼくは、班長になるときにこう思いました。
「時間を守ってすばやく行動できる班にしよう」と。

しかし、それは容易なことではありませんでした。前年度は1班だった班の数が2班に増えて、1班の人数が減りました。班員が少なくなり、一人あたりの仕事が増えたため、時間に遅れそうになることが多くなってしまいました。ぼくがあせってしまったため、出した指示があいまいで、混乱してボーっとする班員が出てしまいました。

そこで、これまで先輩が出していた指示を思い出して、全体の様子を見ながらその人に合った具体的な指示を出すように意識してみたら、班員が素早く行動してくれるようになりました。いまは、班の動きも改善しつつあります。

これからは、これまで先輩に教えてもらったキャンプの技能などいろいろなことを班員に伝えて、もっと班員の技能を高めて、一つ一つの集会を楽しめるような班にしていきたいです。



理想の班作りを目指して

千葉地区 千葉第6回 ボーイスカウト隊 コブラ班 松本 峻太

僕は班長になって3ヶ月ですが、班長として目指す理想とする班作りがあります。

それは班員が、与えられた仕事以上の事ができる班です。具体的には、班のみんなが、常に他の班員の事を考え気配りしながら動くということで、そうすることによって、班員同志助け合うことが日常的にできるようになると思っています。

班長になって、今までと違って、自分の仕事をこなしながら全員に気を配り、また仕事の指示を与える立場になって、大変さと充実感でいっぱいです。

僕の班の班員は、まだ与えられた仕事をこなしているだけですが、常に回りの状況が見え、お互いをカバー出来る様な班員になって欲しいし、そうさせられるのは班長だけだと思っています。これからもリーダーシップを発揮して行きたいと思っています。



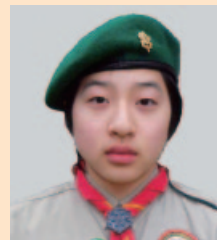
班長になって

東葛地区 柏第7回 ボーイスカウト隊 シカ班 湯浅 主基

僕がボーイ隊に上進した頃は先輩達が多かったため、3年目頃から僕が代理で班長を務めることがよくありました。しかし、僕が班員達にいろいろと指示をしても、班員達はなかなか動いてくれませんでした。

僕が見習いの頃、班で立ちかまどを作った時に、班長が角しぼりのやり方を説明してくれて、自分でできた時にうれしかったことを思い出しました。僕はその時、班員達が動かないのは、やり方をわかっていないからかもしれないと思うようになりました。

今、僕は班員達に平等に接することと、やり方を説明して指示することを心掛けています。なぜなら、班員達にも自分でできた時のうれしさを感じてほしいからです。また、数年後に今の見習いが班長になった時、新しく入ってきた見習いへの指示に困ったら、僕が説明して指示したことを思い出して、しっかりと説明して指示してもらいたいからです。



人見知りだった僕

北総地区 流山第3回 ボーイスカウト隊 タイガー班 森脇 達也

僕は昔人見知りで、前に出て指導するようなタイプではなかった。僕が変わったのはカブスカウトに入ってからだ。カブスカウトに入った時、みんな学校も違うのにどうして仲がいいのだろうと思った。しかし一緒に活動する度に分かってきた。みんなで活動するにはお互い協力することが大切だ。協力しあうには話すことが必要だ。ボーイスカウトに進むともっと大事になる。キャンプの立ちかまど作りやテントはりには声をかけあうことが必要だ。毎年恒例行事である50kmハイクの時励ましあうことでゴールできる。人見知りをしている場合ではない。

今、僕は班長になり、ただ声をかけあうだけではなく、みんなを指導したりまとめたりしてはいけない。難しい。でも言葉で足りないことは態度で班員にみせて、より良い活動につなげていきたい。



班長としての心がけ

松戸・鎌谷地区 松戸第10回 ボーイスカウト隊 コブラ班 金谷 葵以

ぼくは、ボーイスカウト松戸第10回のコブラ班班長として、自分が今までに得た知識や経験を班員たちに教えながら一緒に活動に取り組んでいます。

特に安全面に気をつけ、時間を無駄にしないようにすばやく行動することを心がけていますが、時には思うような活動ができなくて悩んだりもします。

1月に行ったオーバーナイトハイクでは、スタート地点からすぐに5km以上迷ってしまったり、第1チェックポイントからはベテランの次長が読図を行なったら、今度はルートをショートカットするなど、反省する点がたくさんあります。結局、目標の10時30分にゴールすることはできなかったけれど、足が痛いという新人班員の荷物を持ち、全員一緒に歩いて帰ってくることができたのはよかったです。

これからも班長として次長と協力し合い、時には班員の意見を聞きながら支えながら活動に取り組もうと思っています。



班長としての役割

香取東総地区 銚子第3団 ボーイスカウト隊 ハヤブサ班 武井 慶彦

僕が班長として大切だと思うことは、リーダーシップをしっかりと発揮することです。なぜ、リーダーシップを発揮することが大切なのかというと、他の班員をまとめたり、集会や会議をスムーズに進めたりするのにとても重要だからです。このことはボーイスカウト活動以外にも重要なことなので、日頃から心がけていきたいです。



そして、班長として困っていることもあります。それは、集会の出欠報告をして下さいと連絡しても、報告が来なかったり、集会に来なかったりすることです。これは、集会を楽しいものになり、班員に注意したりして改善していきたいです。

これからも、班長としての役割をきちんと果たしてより良い班を作っていきたいと思います。

信頼される班長に

上総地区 大網白里第1回ボーイスカウト隊 ホワイトベア一班 中村 英莉

私が、班長になって苦労したことは、班員をまとめることと新人スカウトの育成です。

班長になって初めてのキャンプの時、班員に指示を出しましたが、動いてくれません。自分の指示が甘いのか作業がはかどらず、いらいらすることばかりでした。また、新人スカウトに技能を教えるときには、実際にやって見せないといけないので、間違えないように前もって練習をしましたが、思うように伝わらず悩んだこともありました。

私の班長だった先輩が、辛抱強く指導してくれたように、どうしたら皆が動いてくれるか班員一人ひとりに意見を聞いてよく考えました。今では、班員もキャンプや集会を重ねるたびに自ら動いてくれるようになり、少しずつですが、成長しています。

これから私は、班長として班長訓練や集会に積極的に参加し、先頭にたつてやってみせることで、班員に信頼されるようにもっともっと努力し、何よりもチームワークを大切にしていきたいです。



班長になって

南総地区 富津第1団 ボーイスカウト隊 タカ班 吉田 晃己

僕の所属する班は、9人(男6女3)で活動しています。

前年度に、次長として活動していたので、班長になっても今まで通りの活動でよいのだと、安易に考えていましたが、いざ自分が班長となると活動日程の計画・確認・連絡など、今まで気にもしなかった細かいところまで、気を配らなくてはならず、大変な任務を受けてしまったなど少し後悔もしました。



また班員の8割近くが中学生であり、部活や塾などの為、活動日の参加人数も少なく、あまりまとまった活動が出来ないことが悩みでもあります。

しかし、上進したばかりで緊張している小学生を見ると、自分も最初は何も分からず、先輩スカウトの方に色々教えていただいたことを思い出し、出来るだけ後輩スカウトに、声掛けをしていくように心がけています。

今後はみんなの手本となれるよう自らの知識、技能を向上させ、意味のあるスカウト活動にできるよう努力して行こうと思います。

常に備えよ！七つ道具

市川・浦安地区 市川第6回ボーイスカウト隊 ツバメ班 森山 正暉

僕がボーイスカウト隊の班長になって学んだことは準備の大切さです。

その中でも七つ道具はとても大切なものだと思います。一見、こんなもの持っただけでも使わないのではと思いますが、しかしそれで七つ道具のうち何かひとつを家に置いてきたらそれを使うときに困ってしまいます。必要な道具を忘れない様に習慣づけることが大切で七つ道具はいつも持っていなければならないものだと思います。



七つ道具はボーイスカウト活動以外にもたくさんあると思います。例えば学校での七つ道具は筆箱や学校の教科書、筆箱といってもシャープペンシルと消しゴムだけではダメです。赤色や青色・黄色などの色ペンも必要だしシャープペンシルの芯も持っていかなければいけません。シャープペンシルを持っていても芯がなくて文字が書けなくて授業どころではありません。七つ道具はボーイスカウトだけではなく色々な分野で使えるので大切だと思いました。

班長として

八千代・習志野地区 八千代第2回 ボーイスカウト隊 ホークス班 片寄 颯人

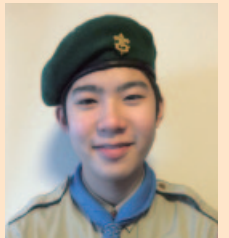
僕は中学1年生の時に1年早く班長になり、今年で2年目になります。最初は班員がなかなか協力してくれなくて大変でした。しかし活動を重ねるうちに班員が協力をしてチームワークも良くなり、とても嬉しかったです。昨年那須での6泊7日の夏キャンプは、毎日雨でテントサイトの設営や整備などがなかなか進まなかったり、また雨がテントに入ったりと大変でした。途中で帰りたくなる班員もいましたが、みんなで励まし、協力して頑張ったのでとても楽しく、また良い経験になりました。班長としての経験は、これからの活動にも役に立ちそうです。今年は班員が部活で忙しいのに活動に参加してくれるので、みんなが楽しめるような活動、地域の奉仕活動など、活動を増す予定なので楽しみです。また日本ジャンポリーもあるので、キャンピング中心の活動内容にしようかと考えています。班長として2年目なので、班員のためにより良い活動になるように頑張ります。



班長に必要なこと

印旛地区 佐倉第2回ボーイスカウト隊 イーグル班 知見 多間

僕の団のボーイスカウト隊は、全員で5人しかスカウトがいません。四年目のスカウトは僕しかいないので、これまでの経験を活かすために班長になりました。これまで班長をやってきて思ったことは、分からないことがある班員には、次回できるように丁寧に教え、自分も班長だからといって何もしないのではなく、自分の作業分担をこなしつつ班員への指導、指示をするのが班長としての仕事なんだと実感しました。



また、もう一つ班長の役割としては、班員が活動を楽しめるものにし、将来役に立つ術を身に付けられるような活動にすることだと思います。僕自身もこれまで指導者や先輩たちにいろいろな事を教えていただき、数えきれない程の技術や知識が身についたので、とても感謝しています。僕も先輩たちを見習って後輩スカウトがボーイスカウト活動に参加していてよかったと思えるような活動を目指すとともに、自己研鑽し、菊章、富士章が取得できるよう、また楽しく活動ができるようにこれからも頑張っていきたいです。

国際交流

平成24年度スカウト特別海外派遣参加報告

南総地区 富津第1団 ベンチャースカウト隊副長 宇山 健太

私は平成24年度スカウト特別海外派遣に参加した。この派遣は富士章を取得したスカウトが応募することが出来るもので、独自に企画した社会性のあるテーマにより定められた国または地域においてプロジェクトを実施できるものである。

私は「今、私たちにできること。やらなければならないこと」というプロジェクト名で2012年8月15日から28日までノルウェー王国を訪問した。このプロジェクトの目的は、環境問題の現状理解とその対策について、ボーイスカウトだからできること、やらなければならないことを提案することであった。具体的な活動はフィヨルド地域のハイキング、氷河の見学、環境保護活動の調査である。また国際交流にも重きを置き、現地の人々やスカウトと交流も行った。



ガイランゲルフィヨルドの様子



オーレスンの街を望む

今回の派遣では、8月15日に成田国際空港を旅立ち、イギリスヒースロー空港を経てノルウェーへ入国。16日は首都オスロの北にあるオーレンという町へ向かった。

このオーレンという町はとても美しい港町である。17日はこのオーレンをベースに最初のフィヨルドであるガイランゲルフィヨルドを訪れた。

ガイランゲルフィヨルドはフェリーでフィヨルドの中を進むことができ、陸地からは見ることで見えない雄大で美しいフィヨルドの姿を間近で見ることができた。18日はオーレンからストリーンという田舎町へ移動し、19日はストリーンをベースにブリクスター氷河を訪れた。目の前で青く輝く氷河

は非常に美しかった。しかし、氷河の後退は顕著で、地球温暖化の影響を見ることになった。20日、21日はスタヴァンゲルへの移動日。22日はスタヴァンゲルをベースにプレーケストーレンへのハイキングだ。プレーケストーレンとは説教壇の意味で、垂直に600mの一枚岩であり、そこからの眺めはスリル満点だ。その後はオスロに移動し、ホームステイや現地スカウトとの活動を行った。



現地スカウトとの交流

今回の派遣を通じて当初の目的は達成することができたと考えている。しかし、それ以上に多くのことを学んだ。実際にその場に行って自らの目で見て感じることの重要性、国際人になるのと同時に日本人の心を大切にすることの重要性、感謝の心を持ち続けることなどである。これらはほんの一部だが、今回の派遣で学んだことや経験したことを後輩スカウトや周りの人たちに伝えていくことが、これからの私に求められることであろう。



プレーケストーレンでの記念撮影



ノールフィヨルドの様子



ブリクスター氷河の様子



ホストファミリー：アリーダ



はっけん伝 ありがとう

清水英雄さんの「ありがとう」という詩を読む機会があり下記に紹介すると、「つらいことがおこると感謝するのです これでもた強くなれると ありがとう 悲しいことがおこると感謝するのです これでもた強くなれると ありがとう つらいことも悲しいこともピンチものりこえて生きることが人生だといいきかせるのです 自分自身に そうするとふっと楽になって楽しくなって 人生がとても光り輝いてくるのです ピンチはチャンスだ 人生はドラマだ 人生がとてもすてきにすばらしく よりいっそう光り輝きだすんです ますます光り輝く人生を ありがとう の心と共に」です。

私たちは、生まれてから死を迎えるまで、常に何かに取り

組んでいます、生きていくための「さだめ」のようです。親の全てではありませんが、子供にいろいろな試練を与えてあげられない事が多い様な気がします。そのためにいろいろな問題に立ち向かい解決していくための能力が育ちにくいのかと考えます。

この詩を読んだときに、自分は逃げていないだろうか、いろんな事に挑戦しているだろうかと考えさせられました。物事にぶつかり失敗しながらも少しずつ成長していく自分が見える様な気がします。みなさんも失敗を恐れずコツコツと積み重ね自分自身の内面を鍛え社会に貢献できる基礎を築き上げてほしいものです。

香取東総地区コミッショナー
三塚 学

富士章を取得して

東葛地区 柏第1団
ベンチャースカウト隊 武田 英香里



富士章という名誉ある章を取得出来たことを、心より嬉しく思います。そしてこれまで私を支えて下さったリーダーの方々や、スカウトの仲間たちにはここで感謝の気持ちを伝えたいです。

ボーイスカウト活動は、社会人になる前から青少年が社会や周りの環境に対してアクションを起こすことが出来る、とても素敵な活動だと思います。実際に富士章に挑戦する過程で経験した、地元器械体操クラブにおけるコーチとしての長期にわたる奉仕活動では、指導において大切な事を学ぶことができました。プロジェクトを実行するにあたって培われた、企画→計画→実行→反省そして次の企画

というこのサイクルは、社会人になった将来、自分の糧となるものだと感じています。

また、今回富士章という大きな目標に挑戦することで、これまでの自分のスカウト活動を振り返り、この先の活動の方向性を定めることができたので、スカウト人生のターニングポイントになったと思います。

これからは後輩のスカウトの育成に携わると共に、海外のスカウトとの交流などを通して、日々のスカウト活動のさらなる充実化を図りたいと思っています。

わが地区自慢のキャンプ場紹介

印旛地区 成田第1団 「自然豊かなキャンプ場」

成田第1団のキャンプ場は、成田ニュータウン隣接地の里山の中にありましたが、成田市の運動公園整備のため、現在の場所(旧大柴町の津富浦)に3年前に移転しました。

周囲はうっそうとした山林と竹でかこまれ、自然豊かな中にあります。

もともと、付近の皆様のおこいの場として、また、ゲートボール場として使用されていたため、倉庫を兼ねた管理棟、トイレ、水場、駐車場が完備されており、今まで使用していたキャンプ場より設備のそろったキャンプ場となりました。

使用するにあたって、国旗掲揚ポールを成田市より払い下げていただきボーイスカウトのキャンプ場として整備をしているところです。

隣には大柴消防署があり、ボーイスカウト隊の救急法の講師を署員にお願いすることもあります。

敷地は約10,000㎡あり、広さを利用し、ビーバースカウトからベンチャースカウトま



で思いっきり走り回れるキャンプ場です。

平成24年度の印旛地区キャンポリー、ベンチャースカウト上進者歓迎キャンプ等にも使用されています。

印旛地区キャンポリーでは、参加ベンチャースカウトの発案により、トーテムポールを制作し、キャンプ場脇に建立されシンボルとなっています。(那須野営場には及びませんか)



キャンプ場問合わせ

成田第1団 団委員長
篠原 圭助
キャンプ場所在地
成田市津富浦 1109



ゲット!!

平成24年8月25日
平成25年2月28日

富士章・千葉県連盟準章・菊スカウト章 取得スカウト

富士章

武田 英香里	柏	1団
高井 友也	浦安	2団

千葉県連盟準章

高井 友也	浦安	2団
木下 萌美	千葉	1団
木崎 尚也	鎌ケ谷	2団
石橋 佑太	千葉	1団
太田尻晋之介	鎌ケ谷	2団
大久保 幹子	千葉	1団

菊スカウト章

多紀 旦	鎌ケ谷	2団
荻本 勇稀	千葉	13団
茨木 初輝	千葉	22団
川島 拓巳	千葉	27団
吉岡 岳洋	千葉	27団
長田 薫	千葉	27団
難波 翔一	四街道	2団
中臺 瞭太	四街道	2団
大口 貴也	船橋	3団
圓山 凌介	船橋	3団
近藤 兼続	柏	9団
前川 慶明	柏	4団
東 政伸	柏	9団
竹森 公哉	柏	9団
嵩中 優太	君津	2団
小嶋 志歩	我孫子	3団
大谷 かな	千葉	8団
亀田 遼太郎	千葉	8団
佐藤 直樹	銚子	3団
松本 航季	旭	2団
佐藤 貴郁	旭	2団
野苺家孝太	旭	2団
谷口 伶依	我孫子	2団
谷口 玲雄	我孫子	2団
高岡 日向	松戸	5団
仲村 航大	市川	6団
相田 颯	印西白井	2団
湯浅 主基	柏	7団
飯田 菜月	鎌ケ谷	2団

宗教章

平成24年8月25日
平成25年2月28日

仏教

佐藤 勇希	浦安	2団
柴山 紗綾	浦安	2団
青木 美徳	柏	1団
宇山 康太	富津	1団
原口 幸	富津	1団

隊指導者研究集会で奥島日本連盟理事長の基調講演

2月24日、千葉県青少年女性会館にて、平成24年度千葉県連盟隊指導者研究集會が開催され約370人の指導者が参加しました。

初めに、公益財団法人ボーイスカウト日本連盟奥島孝康理事長の基調講演「スカウティングの原点と指導者の責務」を聞きました。

奥島理事長は、四万十川の清流や宇和島のボーイスカウト時代のワクワクドキドキする楽しかった活動の体験を原点として、現在のボーイスカウト運動、指導者への期待とその責務について語られました。「ボーイスカウト活動は楽しくなければならぬ」「与えられた楽しみで無く、自分たちで作り出す楽しみ」が大切で「遊ぶという事が大事」だと呼び掛けられました。また「めざせ

富士スカウトでは無く、めざせ全員1級スカウト」という言葉に象徴されるように、多くの「健全な市民の育成」が運動の目的である



奥島理事長

「健全な市民」とは何かを語られ「名誉を大事にしなければならない」ことを強く述べられました。最後に「パトロールシステム」を維持し、班の中でスカウトが成長できるようにして欲しい」と訴えられたのが強く印象に残りました。



活発な意見交換が行われた

事、また「健全な市民」とは何かを語られ「名誉を大事にしなければならない」ことを強く述べられました。

最後に「パトロールシステム」を維持し、班の中でスカウトが成長できるようにして欲しい」と訴えられたのが強く印象に残りました。

講演後、参加者は10人程度の班に別れて「①講演を聞いた感想・印象、②現在のスカウト運動に欠けているもの、③より魅力ある活動にするために、私たちは何をすれば良いか」をテーマに、真剣かつ活

発な意見交換を通じて理解を深め、大変有意義な研究集會になったことを報告致します。



全景

新

地区だより



北総地区



北総 Good Scout 章

北総地区にイノベーションの風

平成24年度北総地区に3つのイノベーションの風を吹き込みました。

1つ目の風は、スカウト活動におけるスカウトの安全・健康・権利を守るために、日本連盟コミッショナーの方針に従い「チャイルド・プロテクション」(児童保護)を地区内で積極的に推進しています。地区コミッショナーの指導により隊指導者を中心にチャイルド・プロテクション勉強会と団訪問による成人関係への啓発活動を実施しています。勉強後は、地区独自で作成したチャイルド・プロテクション・チェックシートに同意のサインをいただき、これによりさらなる安全安心なスカウト活動を目指しています。

2つ目は、頑張ったスカウト個人を褒め称えるための表彰制度として、地区独自の顕彰バッジ「北総 Good Scout 章」を作成して運用しています。

長期キャンプで実施した地区キャンポリーに全日程参加したスカウト、部門在籍中の活動に皆勤したスカウトに授与されます。

この表彰は、大変感動的でスカウトの自信につながるバッジとなっています。

3つ目は、「北総地区活動目標」を定め地区内の各団、各隊がそれに向かって努力をすることです。例えば、「ソングが聞こえる活動を行う。」「指導者は制服をスマートに着用しよう。」



地区ラリー：手作り神輿



地区キャンポリー：信号塔



地区キャンポリー：カヌーチャレンジ

指導者がスマートな制服着用を率先して実行し、スカウトに模範を見せよう。(記事の正確な着用と清潔で手入れのされた制服)等为目标に実践躬行でスカウト運動を推進しています。

編集後記

本紙の紙面づくりに、欠かせないのが写真です。デジタルカメラの普及で写真の送受信が簡単になされ、本紙も基本的にメールで原稿・写真が送受信されています。ここで問題なのが、写真のデータ量で、メール通信であれば長辺640ピクセル以下程度の画質でも十分で、プリンター印刷も可能です。しかし本紙の印刷には、その程度ではデータ量が不足し、印刷しても、長辺が1~2センチほどにしかなりません。

顔写真などは周囲をトリミングしますので、なおさら小さくなり、携帯での撮影やメール送信用に加工した低データ量のものでは長辺が200ピクセルぐらいになり、印刷用データとしてはほとんど不可となってしまいます。そこで、本紙掲載用写真は、少なくとも長辺1000ピクセル程度の画質が必要だ、とご認識いただけたら幸いです。

編集長 上野 孝

	団数	隊数	団委員	指導者	スカウト	計
登録数	8	38	85	217	285	502

(加盟登録状況)平成25年度初現在